

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月20日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	福祉タクシー運行事業	コード	61114
-------	------------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 社会福祉課	作成者 小原 俊也
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	地域福祉の推進
		予算科目	福祉タクシー運行事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	社会参加への促進を目指して、交通弱者の交通手段を確保する		
目的	対象者	80歳以上、要介護、身体障害者、精神障害者、特定疾患者	
	意 図	高齢者、障害者等の方々が地域とつながりを持ちながら、社会参加の促進を目指す	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
○効果的な運行ができるよう継続的な調査・分析を行い、乗合による利用効率、運行効率の向上を目指し引き続き運行を行った。 ・運行回数：29,735回 ・乗車人数：34,666人 ・乗合率：7.84% ・委託料：42,745,369円			
前年度の課題への対応	継続的な調査・分析により30分単位で需要の高い・低い時間帯の車両台数増減の見直しを行い、委託料の削減を図った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	福祉タクシー運行台数			単位	台
実績値	12	12	12		
*指標の説明	最大運行台数				
② 成果指標（指標名）	福祉タクシー運行回数			単位	回
目標値	35,200	34,200	32,900	31,000	
実績値	33,553	31,058	29,735		
達成度	95.3%	90.8%	90.4%		
*指標の説明	運行回数による利用状況の把握				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値を参考に設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	46,532,650	43,554,285	42,772,669	42,685,000
経常経費	46,532,650	43,554,285	42,772,669	42,685,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
正規職員の人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25
③ 合計コスト(①+②)	48,532,650	45,554,285	44,772,669	44,685,000
前年度比		93.9%	98.3%	99.8%
財源				
一般財源	37,404,450	34,999,985	34,624,269	33,585,000
内訳 特定財源	11,128,200	10,554,300	10,148,400	11,100,000
* 特定財源の説明 福祉タクシー利用券販売収入				
④ 活動一単位あたりコスト	4,044,388	3,796,190	3,731,056	
前年度比		93.9%	98.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 95.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 90.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 福祉タクシーの乗合による利用効率、運行効率が課題である	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 調査・分析により、時間帯による適正な運行台数の見直し、乗合化の促進により効果的な運行を行う	
改善 方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	-------------------------------------------	---